

## 研究課題成熟 T/NK 細胞リンパ腫におけるゲノム異常とその臨床病理学的な意義に関する後方視的研究に関する情報公開

### 1. 研究の対象

昭和 55 年 1 月 1 日から令和元年 12 月 31 日までに、研究参加施設における病理組織診断にて成熟 T/NK 細胞リンパ腫（未分化大細胞型リンパ腫を含む）もしくはホジキンリンパ腫と診断された方。病理組織検査がなされ残余検体ある方。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

成熟 T/NK 細胞リンパ腫はアジアに多いリンパ腫であり、細胞傷害性分子が陽性となる症例は予後不良であることが知られています。しかし有効な治療法は確立されておらず、その詳細な臨床病理学的特徴の抽出とともに免疫環境との相互作用を含めた分子病態の解明が望まれています。PDL1 の発現解析、免疫微小環境関連 mRNA 発現プロファイル解析により免疫環境を、次世代シーケンサー（NGS）による whole-exome sequence（WES）、whole-genome sequence などにより、変異の集中しているシグナル伝達経路が明らかになれば、分子病態の解明のみならず、将来的に新規治療法の開発につながるものと期待されます。また、成熟 T/NK 細胞リンパ腫はホジキンリンパ腫の一部との鑑別が難しいことがあり、その両者についても比較解析することで診断に有用な知見が得られることが期待されます。

研究期間：実施承認日から西暦 2025 年 12 月 31 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：病理診断を行った標本、未染標本、凍結検体

情報：カルテから、年齢・性別・既往歴・臨床経過・採血結果・FISH・染色体分析結果・画像所見・生存期間・生死等の情報を収集します。

### 4. 外部への試料・情報の提供

病理組織標本、未染標本、凍結検体およびファイル化した臨床情報は、パスワード保護、匿名化したうえで愛知県がんセンター病院遺伝子病理診断部に郵送致します。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

#### 1) 研究代表者（所属・職名・氏名）

愛知県がんセンター病院 遺伝子病理診断部・医長・加藤 省一

#### 2) 研究責任者（所属・職名・氏名）

名古屋大学医学部附属病院・病理部・病院准教授・榊原綾子

### 3) 研究分担者 (所属・職名・氏名)

名古屋大学医学部附属病院・病理部・病院助教・露木悠太

名古屋大学医学部附属病院・病理部・助教・鈴木優香

名古屋大学医学部附属病院・先端医療・臨床研究支援センター・特任講師・奥野友介

名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学・講師・島田和之

### 4) 共同研究者 (所属・職名・氏名)

愛知県がんセンター病院 遺伝子病理診断部・部長・細田和貴

愛知県がんセンター病院 血液・細胞療法部・部長・山本一仁

愛知医科大学病院・病理診断科・教授・都築豊徳

愛知医科大学病院・病理診断科・准教授・高橋恵美子

愛知医科大学病院・病理診断科・助教・佐藤啓

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・腫瘍病理/第二病理・教授・吉野正

金沢医科大学・血液免疫制御学・教授・正木康史

金沢医科大学・臨床病理学・准教授・黒瀬望

久留米大学医学部・病理学講座・教授・大島孝一

久留米大学医学部・病理学講座・准教授・三好寛明

藤田医科大学医学部・血液内科・教授・岡本昌隆

藤田医科大学医学部・血液内科・教授・富田章裕

藤田医科大学医学部・血液内科・講師・入山智沙子

藤田医科大学医学部・血液内科・講師・岡本晃直

長野県立須坂病院 遺伝子検査科・浅野直子

等、別紙参照

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町  
65 番地, 名古屋大学医学部附属病院・病理部, 052-744-2582

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院・病理部・病院准教授・榊原綾子

研究代表者：愛知県がんセンター病院 遺伝子病理診断部・医長・加藤 省一